

高田地区防災システム導入に至った経緯

大分ケーブルネットワーク株式会社

目次

- 防災システム導入に至った経緯
- 高田地区について
 - 大分市洪水避難地図（洪水ハザードマップ）
- 高田地区防災システムのご紹介
- 防災システムの成果
- 参考資料
 - ヘッドエンド系統図
 - 大野川・乙津川琵琶の州地区まちづくり構想
 - 防災システムを紹介した新聞記事

防災システム導入に至った経緯

- 平成16年10月、高田地区へのエリア拡張を決定
- 平成16年11月高田地区自治委員様への説明会を開催しその会の中で高田地区が水害に苦しんできた実情等の説明を受け防災に関わる何かをして欲しいと要望される。
- 平成17年5月これから水害の発生が多くなる時期を前に防災システムの早期設置・導入を要望される。地区住民からの強い要望を受け水害発生が多くなる時期でもあったことから防災システムの導入に至る。

高田地区について

大野川と分流の乙津川に挟まれた高田地区は高田輪中としても知られます。

古くから洪水の常襲地区で約300年の間に60回もの被害を受けております。

昭和18年の大洪水では堤防が決壊し、40軒の家が流され、18人が亡くなるという大きな災害も発生しました。平成5年9月の台風13号の際も多くの箇所です。浸水し水防についての関心・取り組みの強い地区です。

大分市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)

高田地区は全域で浸水想定区域に指定されております。大分市のホームページに掲載されている「大分市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)」の高田地区に該当する部分を抜粋し掲載いたします。

ホーム > トピックス

大分市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)を作成しました。

大分市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)

洪水ハザード
マップについて

洪水ハザードマップについて

地図の見方

避難所一覧

洪水情報の流れ

台風・大雨・浸水
に備えた対策

ブロックA
(大分川下流域)

ブロックB
(大分川上流域)

ブロックC
(大野川下流域)

ブロックD
(大野川上流域)



この地図は、大分川・七瀬川・賀来川・大野川・乙津川が大雨によって増水し、市内で堤防が決壊した場合の浸水想定に基づいて、浸水する範囲とその程度、ならびに避難所を示した地図です。

大雨の規模は2日間の総雨量が大分川水系で530mm、大野川水系で485mm、(100年に1回程度起こる大雨)を想定しています。

水害の恐れのあるときには、この地図を参考に速やかに避難してください。

なお、地図に示した浸水範囲外の場所でも、地形や内水の状況によっては浸水することがありますので、十分注意してください。

平成16年5月 作成

関連リンク

[河川の防災情報](#)

◇◇水防警報に関するお知らせ◇◇

—お問い合わせ—
土木建築部 河川課
Tel (097)537-5632
Fax (097)532-7545

E-Mail kasen@city.oita.oita.jp

[ホーム](#)

大分市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)

洪水ハザード
マップについて

地図の見方

避難所一覧

洪水情報の流れ

台風・大雨・浸水
に備えた対策

ブロック A
(大分川下流域)












ブロック B
(大分川上流域)

ブロック C
(大野川下流域)

ブロック D
(大野川上流域)

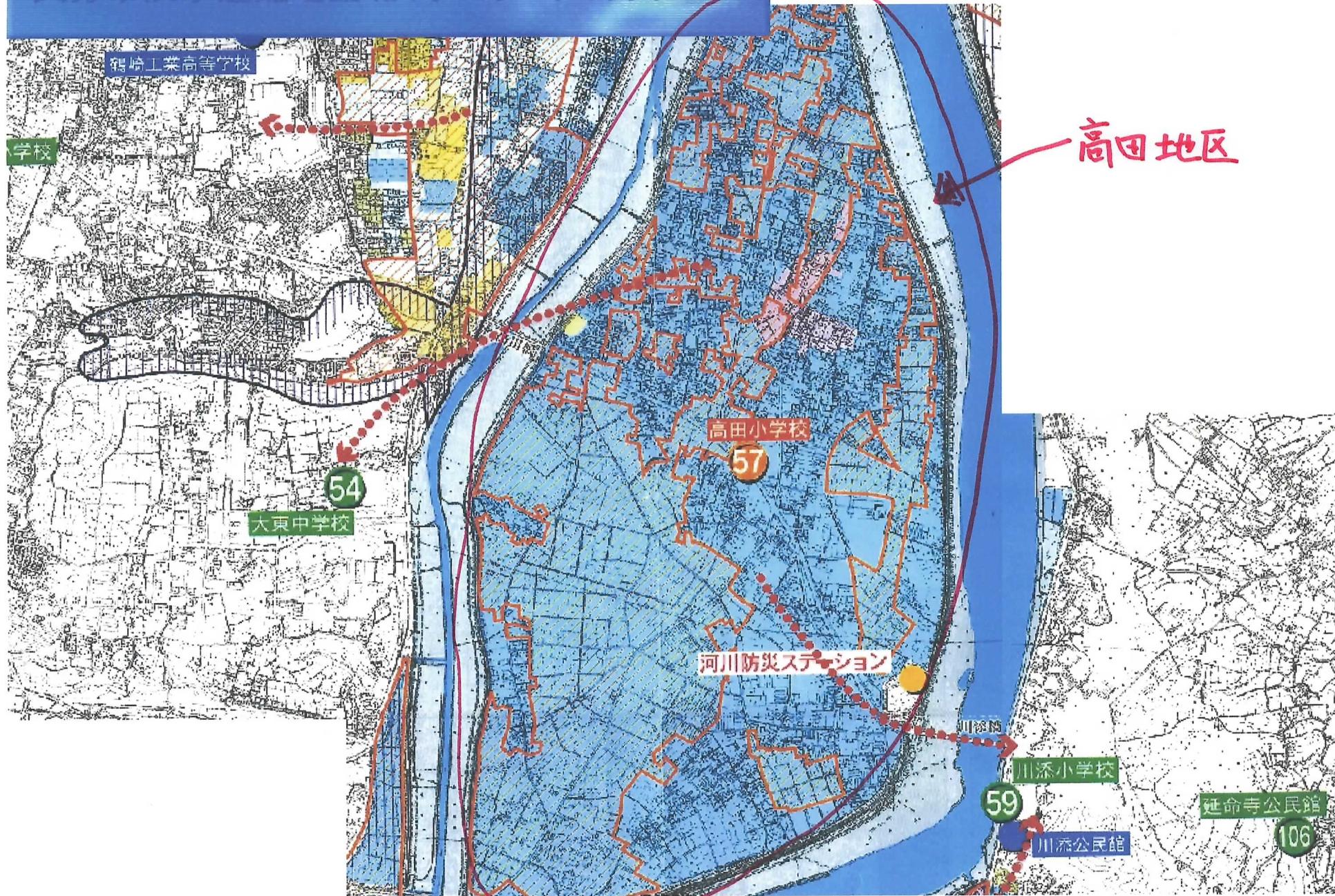
地図の見方

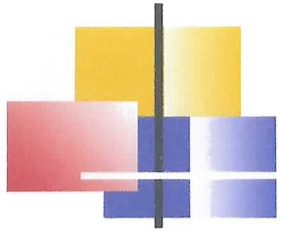
浸水深の凡例と水深の目安

	浸水深が50cm未満の区域 家の外で大人の膝までつかる程度
	浸水深が50cm～1m未満の区域 1階部分で大人の膝までつかる程度
	浸水深が1m～2m未満の区域 1階部分で大人の頭までつかる程度
	浸水深が2m～5m未満の区域 2階建ての軒下までつかる程度
	浸水深が5m以上の区域 2階建ての家が屋根まで水没する
	昭和28年6月梅雨前線豪雨による 浸水区域(参考)
	平成5年9月の台風13号による浸 水区域(参考)
	浸水想定区域外にある指定避難所 指定避難所の一覧 (平成16年5月現在)
	浸水想定区域内にある指定避難所 指定避難所の一覧 (平成16年5月現在)
	指定避難所が使用できない場合に 代替となる施設
	避難方向



大分市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)





高田地区防災システムご紹介

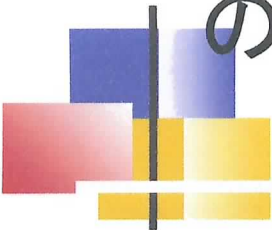
大分ケーブルネットワーク株式会社

OITA Cable Network Corporation



導入の流れ

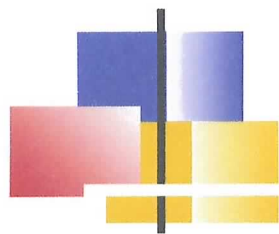
弊社が2005年8月にエリア拡張した高田地区は大野川と乙津川に囲まれた輪中地区で古くから洪水の常襲地帯でした。



このような地区にエリア拡張するに際し、CATVネットワークとデジタル放送技術を応用した双方向防災・告知システムを今回導入致しました。

システム概要

大分市高田地区へは加入世帯全戸にCATV用デジタルチューナー（STB）を導入。STBを利用して、ご家庭にあるテレビで 防災情報や地域情報を確認する事が出来ます。

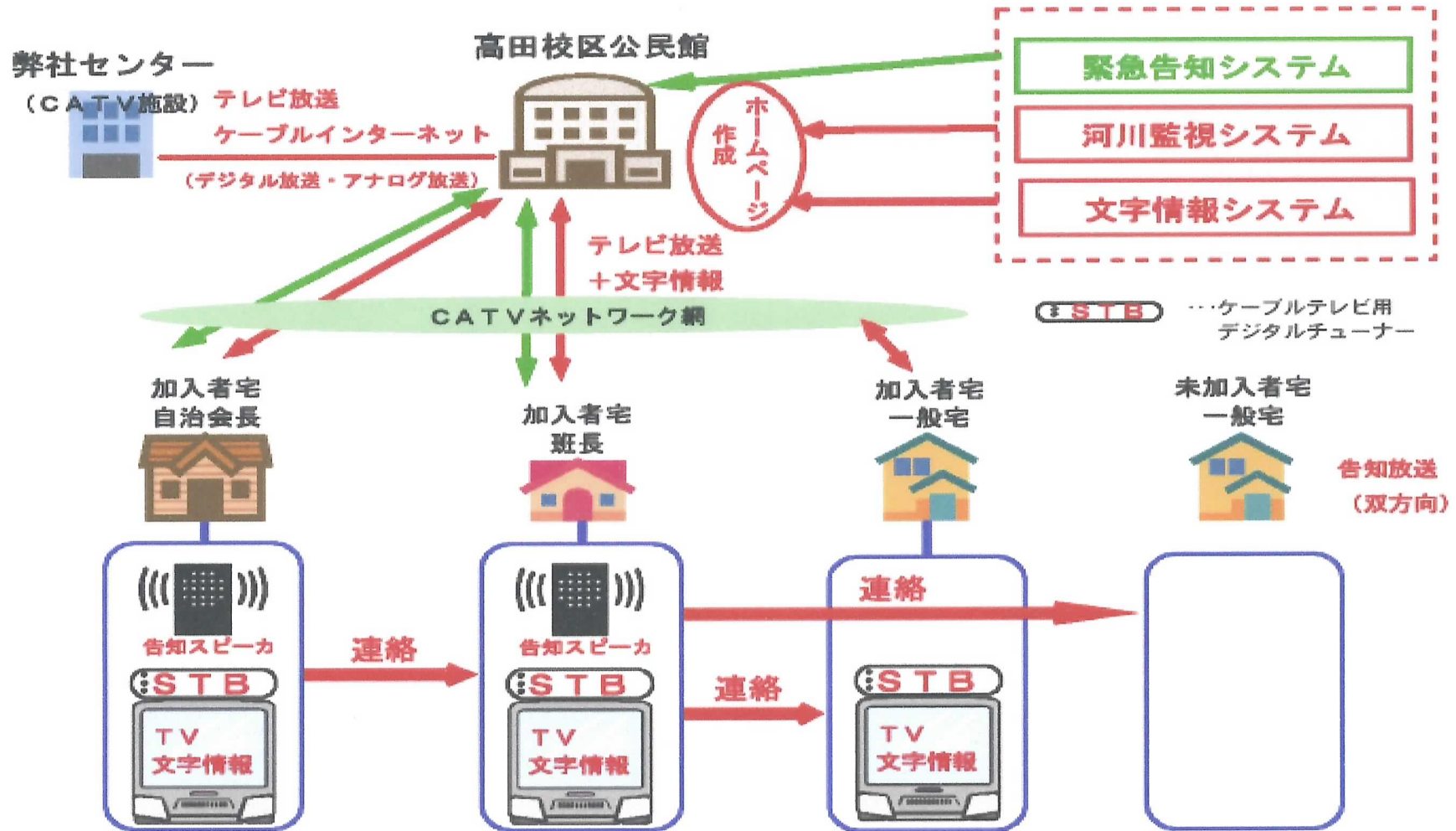


この情報はインターネットを利用し配信するものであり、リアルタイムな河川情報また、校区公民館に設置したパソコンより発信される新鮮な情報を家庭にあるテレビで簡単に確認する事ができます。

河川情報につきましては3地点の情報を配信。内2地点は自社のネットワークカメラによる映像配信。1地点は国土交通省より提供される河川監視カメラ映像を配信しております。

また、別途設置した告知スピーカは地域内での連絡網として利用でき、緊急時の連絡を速やかに伝えることができる地域に密着したケーブルテレビシステムとなっております。

システム概要図



コミュニティサイト 『高田からのお知らせ』 ～TAKATA COMMUNITY SITE～ の紹介1

加入者様宅に設置したCATV用デジタルチューナー(STB)には
ホームページを観覧出来る機能がございます。

その機能を利用し今回、弊社は
『高田からのお知らせ～TAKATA COMMUNITY SITE～』を立ち上げ、

そこに地域情報や防災情報を掲載することにしました。

地域情報には自治会情報、病院情報など生活に役立つ情報を掲載し
地域の電子回覧板的な役割も出来る内容になっています。

防災情報には地区公民館に設置した端末から発信される文字情報の
確認や河川情報の確認が出来ます。

高田からのお知らせ
~TAKATA COMMUNITY SITE~ の紹介2

TAKATA COMMUNITY SITE

高 田 か ら の お 知 ら せ

お知らせ

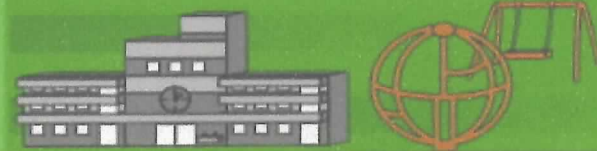
● 行政情報 ●



● 防災情報 ●



● 地域情報 ●



新着情報 あり

新着情報 あり

● イベント ●



番組放送案内

OCN ホーム

● 商店街情報 ●



COMMUNITYサイトTOPページ

高田からのお知らせ
~TAKATA COMMUNITY SITE~ の紹介3

TAKATA COMMUNITY SITE
高 田 か ら の お 知 ら せ



新着情報 あり

ちびっこ広場

子供会・スポーツ等
地域の子供達に関する情報

病院情報

病院情報や
当番医などの情報

老人会情報

老人会からのお知らせ

新着情報 あり

公民館情報

高田公民館に関する情報
地区公民館に関する情報

PTA情報

PTAからのお知らせ

自治会情報

自治会からのお知らせ

高田からのお知らせ ～TAKATA COMMUNITY SITE～ の紹介4

緊急警報

大野川

乙津川

大津留

水位状態



乙津川



防災情報 河川情報

高田からのお知らせ ~TAKATA COMMUNITY SITE~ の紹介5

緊急警報

大野川

乙津川

大津留

水位状態



乙津川



2005年9月 台風14号襲来時映像

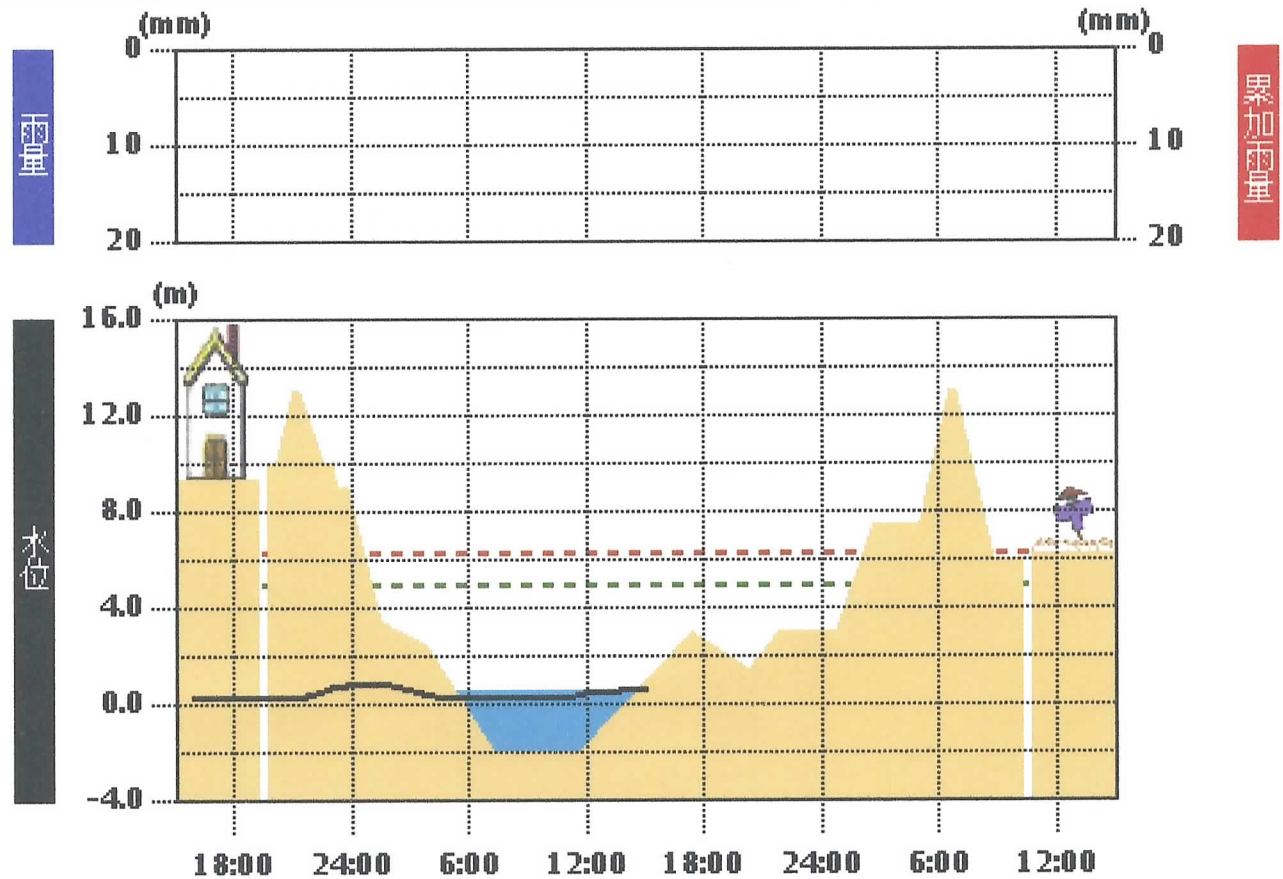
防災情報 河川情報

高田からのお知らせ

~TAKATA COMMUNITY SITE~ の紹介6

時刻	水位 (m)	雨量 (mm)	累加雨量 (mm)
/21 16:00	0.17 ↓	0.0	0.0
17:00	0.17 →	0.0	0.0
18:00	0.17 →	0.0	0.0
19:00	0.17 →	0.0	0.0
20:00	0.17 →	0.0	0.0
21:00	0.17 →	0.0	0.0
22:00	0.31 ↑	0.0	0.0
23:00	0.56 ↑	0.0	0.0
24:00	0.74 ↑	0.0	0.0
/22 01:00	0.71 ↓	0.0	0.0
02:00	0.70 ↓	0.0	0.0
03:00	0.51 ↓	0.0	0.0
04:00	0.27 ↓	0.0	0.0
05:00	0.17 ↓	0.0	0.0
06:00	0.17 →	0.0	0.0
07:00	0.17 →	0.0	0.0
08:00	0.17 →	0.0	0.0
09:00	0.17 →	0.0	0.0
10:00	0.17 →	0.0	0.0
11:00	0.17 →	0.0	0.0
12:00	0.38 ↑	0.0	0.0
13:00	0.43 ↑	0.0	0.0
14:00	0.51 ↑	0.0	0.0
/22 15:00	0.50 ↓	0.0	0.0

項目					
基準値	水防団待機 水位 4.80m	はん雲注意 水位 6.20m	避難判断 水位 -m	はん雲危険 水位 -m	計画高 水位 10.59m
現在値	0.50 m ↓				



家庭のテレビで河川の水位状態が確認可能

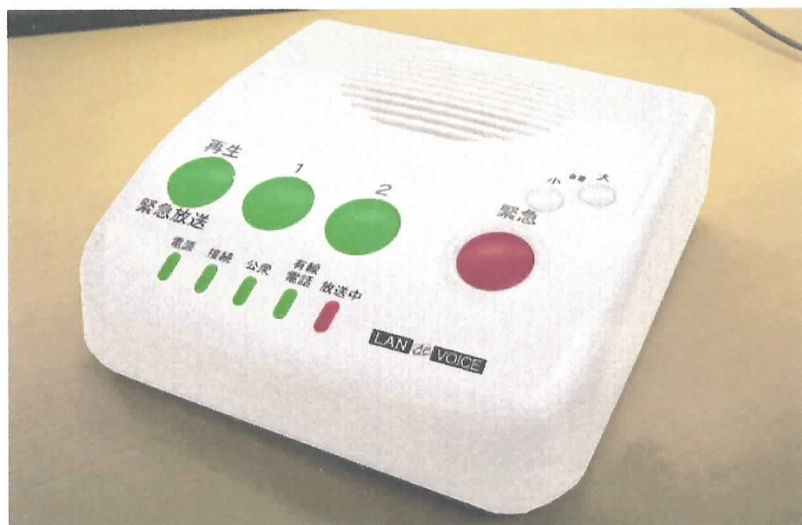
双方向告知スピーカの紹介

緊急時の連絡等に利用するスピーカーです。

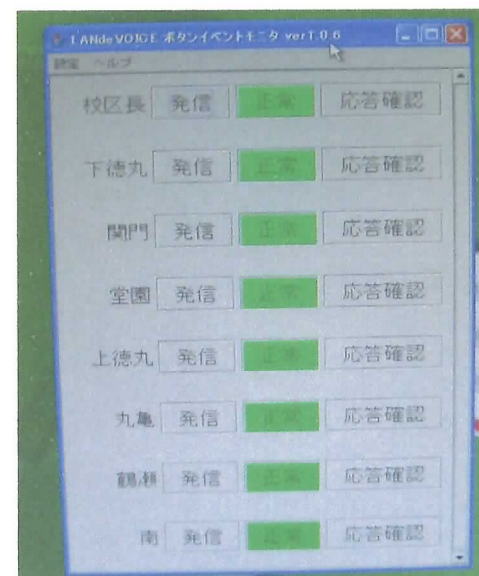
「緊急避難勧告・警告」等が発令された場合、緊急連絡を公民館から各地区自治会長宅などに取り付けた双方向告知スピーカを通して「いち早く・正確」に各戸の加入者宅へ通報することができます。

双方向システムを採用している為、応答の確認もでき、確実性が増します。

平常時は地区内の域内電話(集会の連絡、雨天時の行事決行・中止の連絡)としても利用できます。



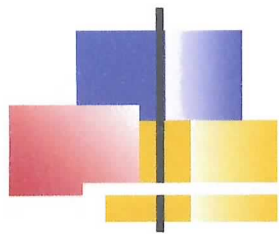
告知スピーカ



応答確認画面

今後の展望

現在ご家庭にあるテレビで簡単に確認できると言う「**手軽さ**」を生かし、防災だけでなく平常時は、地域の電子回覧板的にも利用していただきたいと考えております。



近年異常気象により全国でも災害が多発している
昨今、日常の生活の一部としてテレビで防災情報を確認する事により、地域全体が防災に備える意識が高まり、『**安心・安全**』な街作りに貢献できればと弊社は考えております。

防災システムの成果

地域住民の強い要望により、急ぎ導入した防災システムでありましたが、その年の9月の台風14号による河川増水の際、監視カメラの設置している高田橋では乙津川の水位が計画高水位を超えました。水位が上昇していく映像はリアルタイムで各家庭に届き大きな効果を発揮し地域に密着した防災システムとして定着いたしました。

乙津川



2005年9月 台風14号襲来時映像

参考資料

参考資料といたしまして

- ・防災システム導入に至るヘッドエンド系統図
- ・防災システムのこと記された平成17年9月20日の新聞記事
- ・大野川流域懇談会のホームページにて紹介されている記事

を添付いたします。

大分ケーブルネットワーク株式会社ヘッドエンド系統図 <福岡アナログ波導入当初>

本ページについては、非公開とする。

理由：本ページ記載の内容を公開することにより、本資料の提出者の利益を害するおそれがあるため。

本ページについては、非公開とする。

理由：本ページ記載の内容を公開することにより、本資料の提出者の利益を害するおそれがあるため。

水害に苦しんだ地区に「新兵器」

大分合同新聞

朝刊

9月20日(火)

創刊明治19年
大分合同新聞社
〒870-8605 大分市府内町3-9-15
©大分合同新聞社 2005.
ニュースのご通報などは
大分 ☎097-538-2121
FAX ☎097-538-9674
別府 ☎0977-22-2121
FAX ☎0977-25-1230

朝夕刊 完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、
統合版はありません。

大分合同新聞ホームページ
www.oita-press.co.jp
得ダネ情報満載サイト!
www.i-bunbun.com
九州・沖縄合同サイト
www.press9.gr.jp

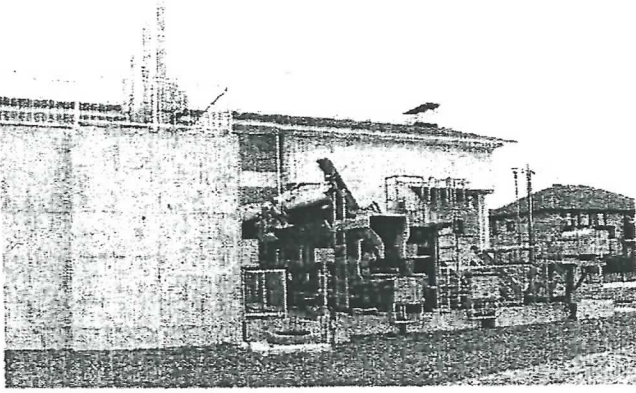
防災システム導入

大分市高田

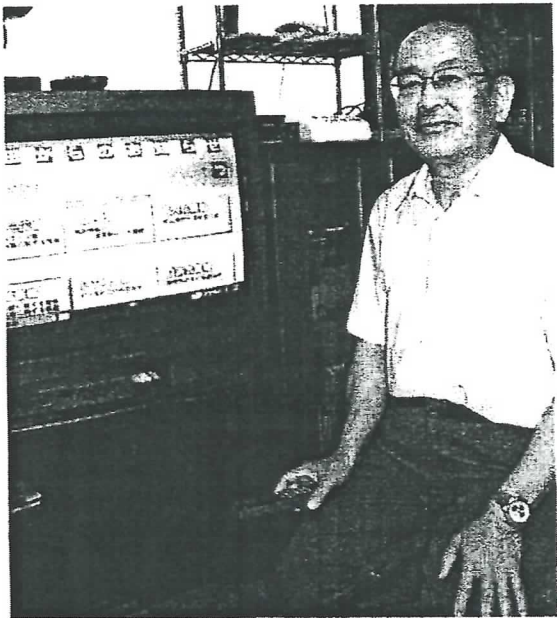
大分市の高田地区に、CATVなどを使った
双方向の防災システムが導入された。専用チュ
ーナーや告知スピーカーを備えれば、自宅のテ
レビで河川の水位を確認でき、緊急時の避難連
絡や確認応答も速やかに行える。今月の台風14
号による河川増水の際も効果を発揮した。

高田地区は大野川と乙会(会長・高橋康夫高田
津川に囲まれた中州。過校区自治部会長)を結成。
去に多くの水害に見舞わ「災害時には情報の共有
れ、輪中集落の景観を残が重要」と、大分ケーブ
すことで知られる。住民ルネットワーク(大分市
の防災意識は高く、昨年小池原)の協力でシステ
ムに大野川水害対策期成ムを導入した。

市が本年度整備した雨水排水ポンプ場



高田校区大野川水害対策期成会長の高橋康夫さん宅に導入された双方向防災・告知システム



台風14号でも「威力」

CATVなど使い 自宅で河川の水位確認

同社と校区公民館などから、インターネットのホームページを使って加入世帯に情報を配信。同社が設置したカメラ二機と国土交通省から提供される映像で、計三地点の水位状況を確認できる。さらに「広報車の巡回では風雨の音で聞き取れないこともある」として、約百戸に避難勧告などを知らせるスピーカーを設置した。

普段は自治会、老人会、公民館、PTAなどの情報を集めたコミュニティサイトも利用できる。世帯数約二千二百に対し、加入世帯は現在約三百。高橋会長は「システムがさらに普及し、安全・安心のまちづくりが進めば」と話している。

大分ケーブルネットワ
ークへの問い合わせは☎
097・558・340
8。



ご意見をお待ちしています

 AND OR

表紙 TOP 大野川のこと 各地からのたより 大野川流域懇談会のこと 市民参加の川づくり 河童大楽 河童小屋 資料館 topics リンク
大野川流域ネットワーク 国土交通省大分河川国道事務所 大分県河川課 財団助成事業 子供ワールド(中断) 川遊び勉強会

市民参加の川づくり

市民が参加して川づくりを行っているプロジェクト

平成9年の河川法改正にともない、市民の意見を取り入れて河川改修が行われるようになりました。その積極的な活用が「市民参加の川づくり」です。地域の川は地域住民が常に親しんでおり、川の様子をよく知っています。その市民が「どのような川であって欲しいか」を提案し、企画し、完成後の維持管理に参加します。

<p>川に対する考え方、意見を大野川流域懇談会で集めて川づくりに反映していきます。</p> <p>昔の川はこうだったよ 安全に遊べる場所があったらいい 自然豊かな川になったらいい 改修工事に当たって市民が参加して意見を述べる</p> <p>インターネットでのご意見はこちらへ</p> 	<p>水辺の楽校</p>	<p>「水辺の楽校推進協議会」 大野川分水の乙津川に子供の環境学習ができ、市民が親しめる水辺をつくるプロジェクト</p> <p>問い合わせ先: 国土交通省大分河川国道事務所 大分市役所河川課</p>
	<p>大野川・乙津川琵琶の洲地区まちづくり構想</p>	<p>河川事業においても、平成17年度から「地域社会の再構築を支援する河川事業」の取り組みが始まり、河川管理者と協働実施体制の構築が可能な地域に対して、河川事業の推進を通して、積極的に支援していくこととなった。</p> <p>問い合わせ先: 国土交通省大分河川国道事務所</p>
	<p>大野川桜づつみ(志村)の河川敷の花壇づくり</p> 	<p>大野川桜づつみ愛護会は、コスモス畑、彼岸花の花壇を地域をあげて(小学校、公民館なども参加)、種まき、除草、イベントを行っています。</p> <p>問合せ先: 大野川桜づつみ愛護会</p>
	<p>三重川</p> 	<p>「里の川プロジェクト目三重川」 大野郡三重町に流れる三重川を市民が参加して、心地よい水辺空間をつくろうと2003年にスタートしました。 市民の協力で、活動拠点「三重河童小屋」には様々な情報が集まっています。</p> <p>問合せ先: 大分県土木建築部河川課 大分県三重土木事務所 三重町役場建設課 NPO法人河童倶楽部</p>
	<p>稲葉川</p> 	<p>「稲葉川」 竹田市の駅前を流れる稲葉川を素敵な空間にしようと、竹田市民が参加して川づくりが始まりました。</p> <p>問合せ先: 大分県土木建築部河川課 大分県竹田土木事務所 竹田市企画課</p>
<p>大野川魚に優しい川づくり懇談会</p> 	<p>「大野川魚に優しい川づくり懇談会」 大野川本流、支流平井川、三重川を中心に、魚にとってどのような川が望まれるか研究し、川づくりを実施する。</p> <p>問合せ先: 大分県河川課・三重土木事務所</p>	

大野川に感謝

Copyright (C) 2004 大野川流域懇談会(we love 大野川)All right reserved.



〒879-7305 大分県大野郡犬飼町田原834-2 NPO法人河童倶楽部内
TEL:097-586-8022 FAX:097-586-8033
mail: kappakoya1@red.oit-net.jp

大野川流域懇談会

「大野川・乙津川琵琶の洲地区まちづくり構想」について

1, はじめに

近年、个性的で魅力あるまちづくりや地域コミュニティの組織化に向けた取り組みが各行政機関等にて活発化してきており、河川事業においても、平成17年度から「地域社会の再構築を支援する河川事業」の取り組みが始まり、河川管理者と協働実施体制の構築が可能な地域に対して、河川事業の推進を通して、積極的に支援していくこととなった。

このような中、大野川では水害からの不安を解消するという共通の認識の基で、地域の団結が強く、水防活動や河川愛護活動等に積極的である高田地区、通称「琵琶の洲地区」において、当該事業が採択された。

2, 地域の概要

琵琶の洲地区は、豊かな河川空間に恵まれた大野川と乙津川に囲まれた全国的にも特異な地形（輪中を形成）をしており、昔から水害の常襲地帯で、洪水を受け入れ、川と共存する文化を創ってきた。

近年では、堤防の完成と共に洪水の被害は軽減されてきたが、未だに洪水からの不安が払拭されたわけではない。

また、この地域の上流部に大野川が90度に屈曲しており、過去に破堤した経験のある箇所では、「大野川水系河川整備計画」の中で位置付けされた「樹林帯」の整備が急務となっており、地域としても、平成16年10月に「高田校区大野川水害対策期成会」を発足させ、水害対策への取り組みのほか、地域の将来を担う小中学生との交流やまちづくりに関して、活発的な活動を行っている。

3, まちづくり協議会の設置

琵琶の洲地区の河川整備と併せて、地域の活性化を目指した、川を活かしたまちづくりを検討するため、地域住民、学識経験者、学校関係者、行政等で組織する「大野川・乙津川 琵琶の洲地区まちづくり協議会」を立ち上げ、平成17年度に計4回開催し、「琵琶の洲地区まちづくり構想」を策定した。

この構想は、琵琶の洲地区の歴史、文化、自然を見つめ直し、新たに整備する内容に加えて、既存の施設を利活用・ネットワーク化するといった内容も検討し、今まで、洪水に悩まされていた「負の遺産」を有効活用するものである。

構想の策定にあたっては、協議会と並行して、地域の活動団体である「高田校区大野川水害対策期成会」との意見交換会を7回実施した。

4, 構想の項目・内容検討

「まちづくり構想」の具体的な検討内容は、琵琶の洲地区の特性を最大限に活かし、新たに河川整備するものと併せて、既存施設等の有効活用が可能なものを選定し、取りまとめた。図2に琵琶の洲地区まちづくり構想図を示す。

4. 1, まちづくり構想の具体例（樹林帯の整備と活用方法）

河川整備計画で整備が位置づけられている樹林帯については、将来に渡り地域社会と深い関わりを持つ施設となることから、計画段階から維持管理まで地域社会と行政が一体となった整備を行う必要がある。このため、樹林帯と共に成長し、将来この地域で生活する子供達が樹林帯整備に参加できる体制づくり

の検討を行った。

5、地域のまちづくりに対する取り組み

5. 1、防災システムの導入

昔から、水害に苦しめられた琵琶の洲地区では、未だに洪水からの不安が払拭されておらず、住民全体としての防災意識が高いことから、地域社会の自助努力により、ケーブルテレビを利用した防災システムを導入し、自らの身を守る取り組みを先駆けて実施している。

5. 2、河川清掃の実施

まちづくり協議会等による地域の活性化を目指した、川を活かしたまちづくりを検討していく中で、地域の河川への関心が高まり、平成17年度より地域住民による河川清掃活動が実施されるようになった。

5. 3、乙津川流下能力向上対策への協力

平成17年9月の台風14号被害を受けて、当該地域の被害軽減のため、「災害対

策緊急事業推進費」による、乙津川の流下能力向上を目的とした高水敷掘削と河道内樹木伐採を計画し、地域住民への説明会を実施していたが、地域住民より、「輪中に住む我々は運命共同体、地域を水害から守るため、できることは少しでも手伝いたい」との声が上がり、住民自らの手で河道内樹木の伐採を実施してくれました。

6、今後の取り組み

今年度は、H17年度に策定した「大野川・乙津川琵琶の洲地区まちづくり構想」の6項目の検討内容について、それぞれの項目の関係者で構成する『検討部会』を設置し、引き続き、地域と連携しながら、具体的な検討を行う。

今後は、この構想を基に地域の方々が主体となって、川を活かしたまちづくりを実践し、河川管理者としては、地域の活性化が実現するように支援していくものである。